



2024年6月11日

各位

会社名 株式会社リロググループ
代表者名 代表取締役CEO 中村 謙一
(コード: 8876 東証プライム市場)
問合せ先 取締役CFO 門田 康
(TEL 03-5312-8704)

ISS社レポートに対する当社の見解について

2024年6月26日開催の当社第57回定時株主総会における第2号議案「取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件」につきまして、Institutional Shareholder Services Inc.（インスティテューショナル・シェアホルダー・サービシーズ社、以下「ISS社」という）は、取締役候補者である佐々田正徳及び中村謙一の選任議案に反対を推奨しています。これに対し、当社は下記のとおり見解を述べさせていただきます。

株主・投資家の皆様におかれましては、当社の第57回定時株主総会招集ご通知ならびに本内容をご確認いただき、当社議案へのご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. ISS社の反対推奨の概要

ISS社では、政策保有株式の保有額が連結純資産額の20%以上である場合に、経営トップの取締役選任に反対推奨する旨の定量基準を定めています。当社の同比率がその定量基準に抵触していることから、取締役候補者である佐々田正徳及び中村謙一の選任議案に反対を推奨しています。

2. 当社の見解

当社グループは、国際会計基準を適用しており、優先株式を保有するSIRVA-BGRS Holdings, Inc.（以下、「SIRVA-BGRS」という）を持分法適用会社として分類し、有価証券報告書でも開示しております。しかしながら、当社単体では日本会計基準を適用していることから、SIRVA-BGRSの優先株式は投資有価証券に該当し、有価証券報告書において「保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式（以下、「政策保有株式」という）」としても開示しております。その結果、2023年3月期有価証券報告書において、政策保有株式の合計額は純資産の20%を超えておりますが、SIRVA-BGRSは持分法適用会社のため、実態として政策保有株式には該当せず、本件を加味した当社の政策保有株式は、純資産に対して10%を下回ることとなります。

また、2024年3月期にて当該優先株式を全額減損したことから、2024年3月期末時点の簿価は1円となっております。

以上のことから、ISS社は、政策保有株式の保有比率の高さを理由に反対推奨していますが、当該基準には抵触していないと当社は認識しております。

株主・投資家の皆様におかれましては、上記の当社見解をご認識のうえ、慎重な議決権行使判断のご検討をお願い申し上げます。

以上